

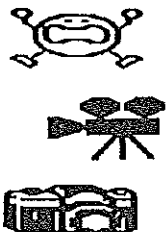


昭和63年8月No88-8
発行 桜木公民館
徳山市城ヶ丘2-4-21
Tel (0834) 28-5973

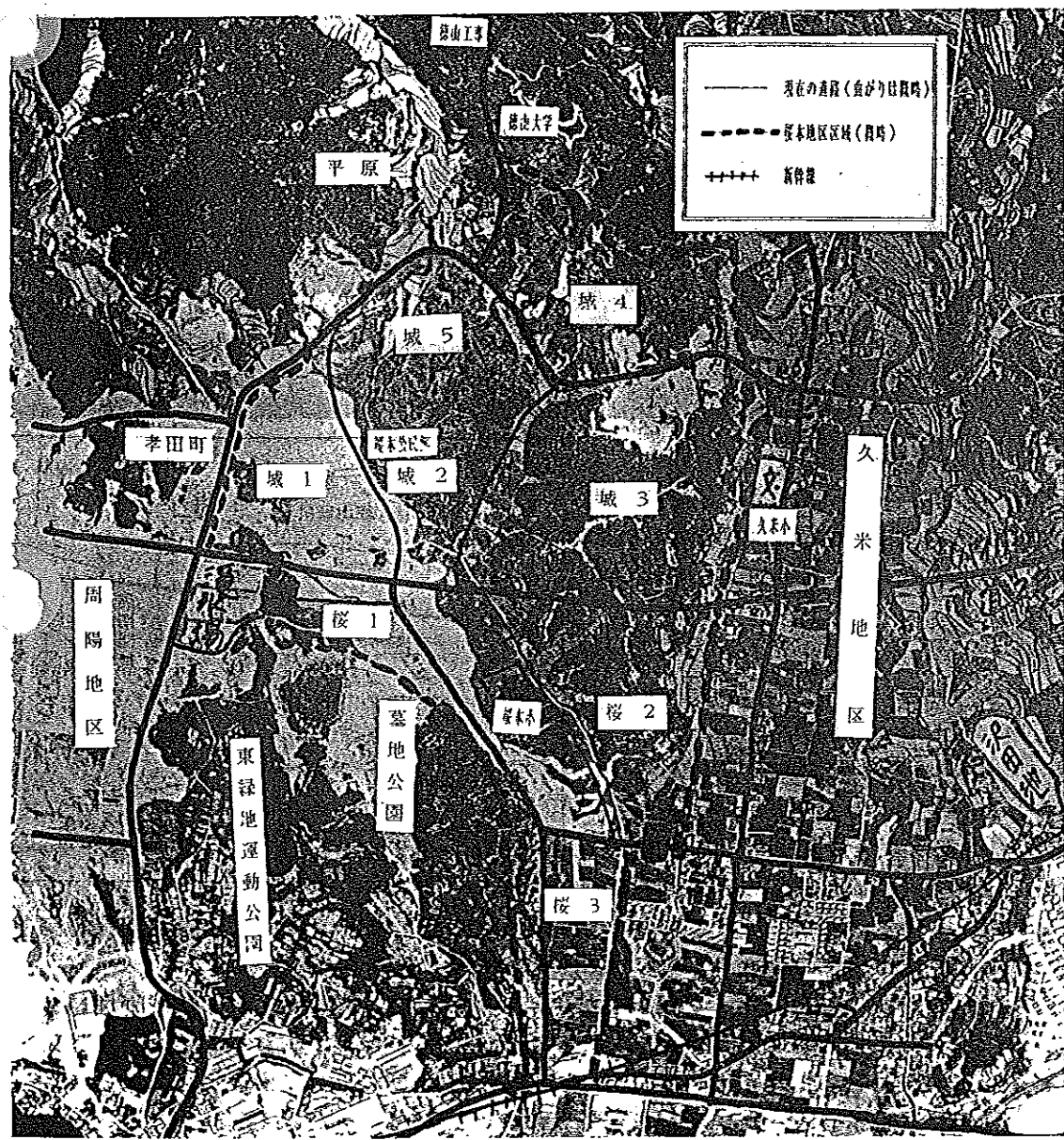
ふるさと町の變貌の歴史!!!

周南団地造成前から→→今日までの激変ぶりを見る。

桜木の今・昔写真特集
(さくらぎの昔と今)



この特集に掲載の写真は、市企画課の提供による。



コミュニティから

盛大に、秋のフェスティバルを
各種、各様、の事情から恒例の桜木夏まつりは今年実行が難しく、見送ることとなり、秋のふれあい行事を盛大に実施することになりました。
すでに、7月始めから実行委員会では、素晴らしい桜木フェスティバルの内容、その展開方法等について何回も会合を重ねて10月16日(日)実施の基本線鋭意研究中です。

桜木地区、立派な投票率！
市内中央17投票所で 2位
[県知事選挙(7月31日)の投票]

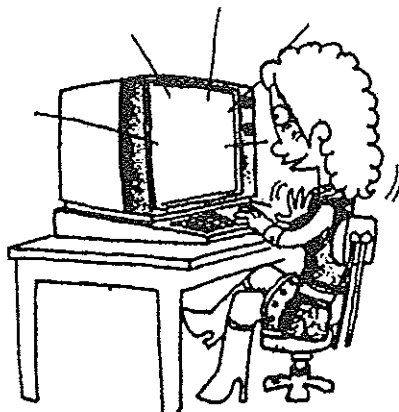
白ばら会から!!!

「棄権は恥だ。誘い合わせて投票を」を合い言葉に、前回の投票率の更に飛躍を目指して、桜木地区有権者の皆様が努力された結果、前回の32.13%を大きく上回り41.49%の好成績を挙げました(中央17投票所の投票状況は右表)

地区	投票率%	順位	地区	投票率%	順位
東遠石	39.98	6	中央	36.26	12
桜木	41.49	2	関門	40.47	4
周陽	32.47	17	鐘楼	41.44	3
秋月	32.99	16	臨海	34.54	13
遠石	36.52	11	権現	34.39	14
東川	36.72	10	今宿	40.05	5
河原	39.03	7	山田川	42.99	1
岐山	37.38	9	山手	33.44	15
高尾岡	38.54	8			

ワープロ設備の学習講座について

ワープロ講座は器械を揃えて1人1台で実地に学習する講座ですから、1講座当り10人の極めて少数に限定せざるを得ませんことを十分ご理解願います。8月の申込状況から、受講希望者が多いことを把握しましたので、秋に第2回目を実施するよう計画です。(何月になるか目下未定)



夏を健康で乗り切るために
B1食品を多く食べよう

夏は新陳代謝が盛んになりカロリーは平素より多く必要とされるにも拘らず、暑さの為食欲も衰えてスタミナ不足を招きがちです。暑いときはどうしても、あっさりした、そうめん等ですががちになり炭水化物が主役になります。これをエネルギーに変える為には、ビタミンB1が必要となり、B1が不足すると、だるさ、疲れが出てきます。
暑さに負けない為には、豚肉、レバー、大豆、豆腐等B1の多い食品を多く摂り、正しい食生活を心がけることが最も大切です。(資料提供、徳山市健康管理課)



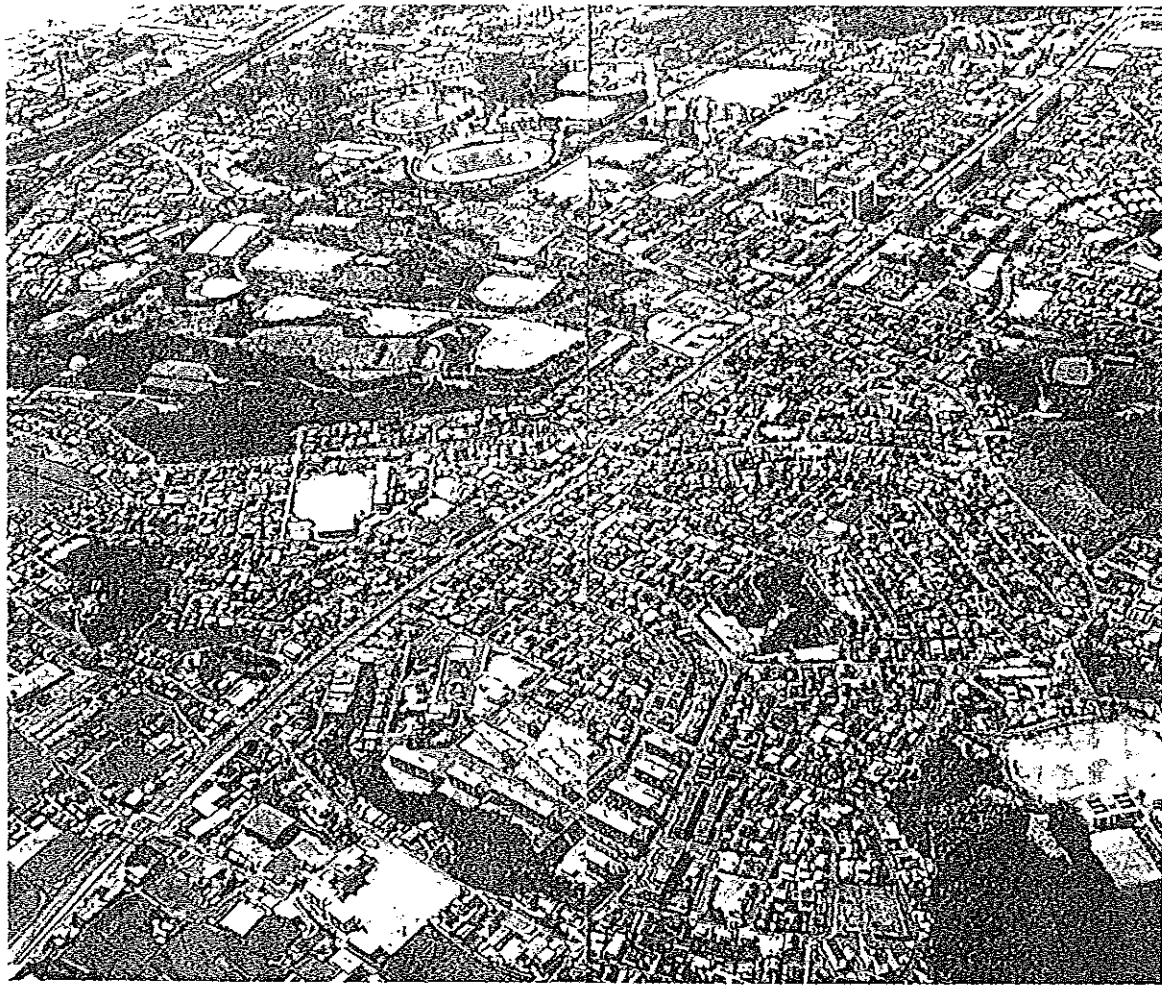
市民陸上競技大会

- ◆ 9月15日(敬老の日)
- ◆ 場所 陸上競技場ほか 中学校の部 高等学校の部 一般の部 壮年の部 地区対抗競技 等
- ◆ 競技の種類=あれこれ いっぱい

地区体育振興会より

◆ 8月27日の健康体操は中止します。

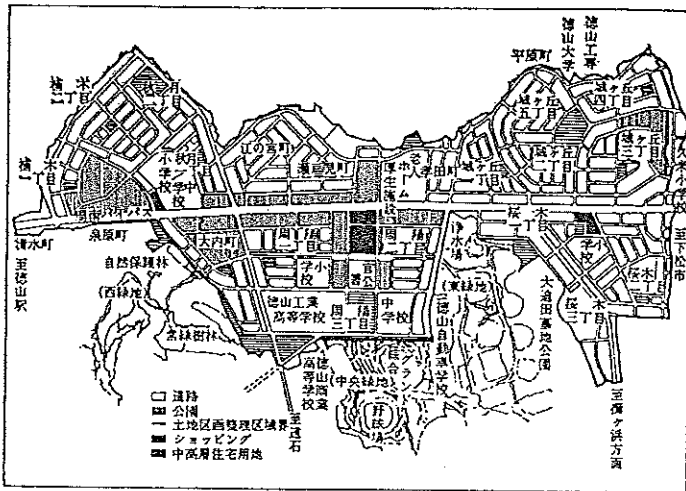
◆ コミュニティ宿泊交流研修会に参加
◆ 8月27日、28日の2日 於太華荘
※本(数2)田中(数1)の2名様が参加



〔現在の(桜木地区を中心にした)周南団地〕

ボクの、ワタシのふるさと桜木地区は周南団地の東端に位置した住宅地である。地区の中央部を国道2号線により2分されているが、北に「とおの山」を、南西方面に周南緑地公園を配し緑の濃い閑静で落ちついた恵まれた所である。

地区人口 約6300人。地区構成自治会数 11。全世帯数 約2100世帯。



(2ページ最下段よりつづく)

- § 徳山市のこの世紀の大事業は「徳山市都市計画事業周南団地土地区画整理事業」と名称され、計画地域の総面積は224万5500平方メートルが団地となった。
- § この開発基本計画は(左図マスタープラン)を基本として施工されたのである。
- § この大事業の起工式は昭和39年11月11日のことであった。
- ◇ 周南団地建設の本稿については、徳山市史下巻第4章を参照した



〔完成近い周南団地〕

昭和39年度から45年度の7ヶ年継続、総事業費25億6,900万円の周南団地造成事業が、いよいよ最終年度を迎えた時点での写真です。

ものがたり
「周南団地建設」

- § 徳山市の都市景観を一変させ、一大新市街地が出現した広大な周南団地と、これと表裏の関係にある豊かな緑の園、すなわち周南緩衝緑地の建設は、戦災復興都市計画事業の完成とともに、徳山市都市計画の歴史に大きな足跡を留めるものである。
- § 周南団地建設問題の浮上した37年は、徳山市を中心とする周南地区の市町村が団結して、新産業都市指定のために運動を始めた年であり、翌38年7月には、周南地区は工業整備特別地域指定の閣議決定がなされる。日本住宅公団にとっても、徳山市にとっても、大団地建設の構想と、前述の経済情勢とは無縁ではなかった。(以下つづく)

